

会場から寄せられたご意見

第6回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

先日、本町1丁目から4丁目を歩きました。87歳になりますが大変でした。疲れて腰が痛くて、ベンチが欲しいなと思いました。ところが常設のベンチは1丁目のブロンシェ前にあるのみ。文光堂、近藤仏具店、フタバヤ前に店の好意で出された椅子が2脚程度ありましたが、少なくとも100mに1箇所くらいベンチの設置ができませんでしょうか？

ハード面はわかりました。ソフト面、コンテンツ（テナント等）に目玉はあるのでしょうか？

子育て世帯にとって有益なところがわかりませんでした。実際の子育て世帯に要望等はヒアリングしたりはしてないですか？（そもそも子育て世帯への訴求を考えてないでしょうか？）

B to Cのビジネスが念頭にあるとお見受けしました。売上や経済的な活性化を考えたらB to Bのビジネス誘致も必要と思いますがそれは別のエリアにするのでしょうか？

自転車駐車が乱雑でウォークアブルには難しいと感じる。ウォークアブルにするのであれば子どもも安心して歩けるルールや、通路の仕分けが必要に感じます。

本町通りが暗いので明るくしてほしい

福岡のFGNを基に『ビジネスと飲食が混ざり合う熱気』を一宮にも作りたい。単にハコを作るのではなく、駅前の飲食店街をまるごと実証実験の場にする様な、飲食店中心のスタートアップ支援を市の方針に据えてください。行政が可能性の境界線を明確に引き、民間の新しいプロジェクトを本気で後押しする姿勢こそが街の未来を創ると確信しています

本町通。駐車場の出入り口軒を大きくとあれば、例えば二階建て“ボードウォーク”を出来れば全面にする事ができたらとも思いました。

やはり、肝心の店舗の魅力が必要だと思います。商店街や店舗へ“参道的なデザイン”で建て替えたら補助金ができるようにして、和のお店の誘致や、新規店舗にはさらに支援があると、店に選ばれる一宮市になると感じます。

駐車場が足りない。車社会の一宮市には不可欠。

会場から寄せられたご意見

第6回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

本町通に魅力的なお店があるのでしょうか？うなぎの寝所の土地形状では、全く有効活用されない気がします。

都市計画課のプランと説明にはがっかりです。歩道を広げて、フラットにして綺麗にして賑わいができるなんて、古い発想です。市民と商店街が賑やかな街並みにする思いと行動を取る。そこへの出店を促す。意識を変えることが大事だと思います。そしてコンセプトと統一感が必要だと思います。

銀座通りの自転車専用道？に違法駐車が…これでは安全とはいえない。車歩分離は必須ではないでしょうか？

本当の賑わいとは、土日もそうですが平日の日中の賑わいであると感じています。そのため、空き店舗対策を推進していく必要があると思いますが、空き店舗を貸す意思のない方に対してどうやってアプローチしていけばいいのでしょうか？

お店にたくさんきてもらうことは素晴らしいことですが、その店の質はどうお考えでしょうか？現状、夜に不良が溜まるようなお店もあり治安が良くないです。路上喫煙も多く、タバコのポイ捨ても大量にあります。昼の街づくりに加えて、夜の街づくりも考えて欲しいです。

昔からの古き良き時代のお店も共に、平日はお子様や親子が安全にランチやカフェ、遊び場などがあり、楽しく過ごせる。学生が学校終わりに遊べる、若者が仕事終わりにデートできたり飲みに出かけたりできる。休日にはイベントがあり家族や友達と恋人と出かけられる商店街になるには来る理由が必要だと思います。

ロータリーを子供用公園にする意見はなかったですか？

定年退職し38年ぶりに地元に戻ってきました。本町通りの変わり果てた惨状を目の当たりにし、言葉を失ってしまいました。枝葉末節の議論が中心でしてむしろ若年人口の拡大策や、本町通りの空き店舗対策などより具体的な論点を再整理し、それぞれの課題に対する一宮市の関連部署と連携した対応が急務であると感じましたがいかがでしょうか？

ショッピングモールと商店街の違いはなんだと思いますか？

会場から寄せられたご意見

第6回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

自転車の駐輪についてはルールを定める必要があると感じました。ほこみちの活用には店の前の駐輪はなくすべきでしょう。しかし、駅東側に駐輪場が無く商店街内駐輪禁止になると困る人もでてくると思います。うまく自転車と共存することでさまざまな層を引き寄せることもできると思います。市内は自転車という人も多いです。

やはり自転車が使い勝手と景観を悪くしていると感じています。（たまに蹴ってやりたくなる）駐輪場が用意するか、商店街のルールを決める必要があるのではないかと思います。

出村さんへ 昨年の盆踊りでラウンドアバウトの活用が大変評判が良かった。駅降りて「ランドマークてき」なお城や鳥居が見えるのは大変いいアイデアだと思います。車に乗る前に街に寄ってくれると思う何かお考えはありますか。他市の事例etc. 本町通り商店街で育った市議会議員より

先程の名畑さんのインタビューにあった、toraカフェに良く行き、ひとひらさんでアクセサリーや雑貨を買い、ビバさんで自転車の修理をお願いし、安藤さんの所で乾物や魚の干物を買って、パンを買ったり、野菜を買ったりで日常を商店街で楽しんでいます。制度や整備を上手く使ってたくさんの方で賑わう商店街になるよう願っています。

オープンにして商品を並べてる店が多いのでミストがかかると困る店もあるのでは？

ハード面は行政が支援を行い、あとは個人特に団体戦になってくると思いますが、一個人や団体では詰めきれない点も多いと思います。そこでまちづくり会社について意義やメリット、成功事例について知りたいです。

団体戦＝まちづくり会社が必要ではないでしょうか？行政は必要性をどのように考えていますか？

例えば銀座通りにメタセコイア並木を作り、一宮駅から出た瞬間に、ワァ～となるような空間を作る。地下駐車場から上に上がった際のキャノピーを大きくする案には大賛成です。

メルボルンみたいに外のテラス席でお酒を楽しみたい。車がないと不便なエリアに住んでいます。一宮駅まで来るハードルで、モールに足が向いてしまう。本町に市民を呼び込むためにコミュニティバスをもっと便利に走らせてほしい。

会場から寄せられたご意見

第6回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

以前ベンチが設置されました。その時夜間は浮浪者と酔っ払いのベットとなっており、怖かったです。

ショッピングモールとの比較で、商店街が創業の場だというのは、とても腹落ちしました。個性的で面白い店には出会ってみたいです。

人を安定的に呼ぶには、国の施設、一流企業の施設の誘致が必要。安定した収入のある人が増えると、流行りの店も生き残れるのではないのでしょうか

本町通りの路上や空間が生まれ変わるのは楽しみだ。しかしアーケードの所の商店街は古い建物が多いように思うが、建物の耐震性はこのままで良いのか。一軒でも手付かずの店舗があるのなら、安心して遊べない。空き店舗の地主さんの意識をまず変えるべきでは？

地下駐車場の整備は、どのように進むのですか？

音楽があふれる場も欲しいです。バンドやら、吹奏楽やら